

- 留萌市、北海道及び国等からなる「留萌川減災対策協議会」で検討された減災に関する取り組み方針に基づき、水防災意識啓発のための活動を実施。
- 昭和63年8月洪水パネル展示のほか、浸水体験装置（浸水時のドアの開けづらさを体験）及び降雨体験装置（激しい雨や強風を体験）を用いた洪水等災害体験を行いました。
- 参加された方から、「水害の怖さを感じた。防災に対する意識が少し高くなった。」との感想がありました。

第28回るもい川まつり 概要

目的：昭和63年に発生した留萌川における大規模出水の記憶を、いつまでも忘れず後生へと引き継いで行くため、市民が参加できる手作りイベントとして始まっている。洪水パネル展示、降雨体験や浸水体験などを通して、地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。

実施日：平成29年8月20日（日）

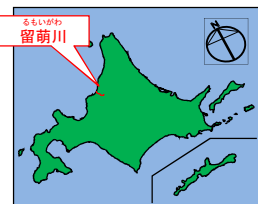
実施場所：高砂公園裏留萌川河川敷
（留萌市高砂町1丁目地先）

主催：るもい川まつり実行委員会

参加機関：留萌市、留萌開発建設部、株式会社堀口組、エフエムもえる、ルルモッペ河川愛護の会ほか

参加人数：約3800人

取組内容：洪水等災害体験、洪水パネル展示



実施状況



昭和63年8月洪水パネル展示



降雨体験装置



浸水体験装置